

12/22  
50/72

# 汚染水放出東電が申請

## 福島第1 地元・漁業者反対の中

東京電力福島第1原発事  
 故で発生する放射能汚染水  
 を処理した後に残る高濃度  
 のトリチウム(3重水素)  
 汚染水(アルプス処理水)  
 の海洋放出について、東電  
 は21日、必要な設備などの  
 計画を盛り込んだ申請書を  
 原子力規制委員会に提出し  
 ました。地元や漁業者は、  
 海洋放出そのものに根強く  
 反対しています。本格的な  
 工事は、規制委の認可後に  
 なります。↓共産党などが  
 福島県に反対申し入れ①面  
 福島第1原発では、溶け  
 落ちた核燃料(デブリ)が  
 ある原子炉建屋に地下水な  
 すが流入し、日々、汚染水  
 が発生。アルプス(多核種  
 除去設備)で除去できない  
 トリチウムなどを含むアル  
 プス処理水129万ト(16  
 日現在)が、敷地内のタン  
 クに保管されています。東電は今年8月、アルプ  
 ス処理水を圃の基準を下回  
 るよう海水で100倍以上  
 に希釈し、海底トンネルで  
 原発から約1.5kmの沖合に放  
 出する方針を発表。新たに  
 設置される海底トンネル  
 は、直径約2.5m程度の  
 鉄筋コンクリート製で、岩  
 盤をくりぬいて敷設しま  
 す。

東電の計画では、規制委  
 の審査に約半年を見込んで  
 増設の申請については、  
 おり、設備の完成は202  
 3年4月中旬ごろを目指  
 としています。東電は、タ  
 ンクが満杯になるのは23年  
 の暮ごろとしています。政府は今年4月に処理水  
 の海洋放出方針を決定しま  
 した。

# 福島第1汚染水放出認めらな

東京電力が前日に福島第1原発の汚染水（処理水）海洋放出のための海底トンネル建設実施計画の「事前了解願」を県と千葉県、茨城県の関係団体に提出した問題で、日本共産党福島県連と、ふくしま復興共闘センターは21日、事前了解せず、計画を容認すべきでないとの陳情を申し入れた。県電力安全対策課の伊藤繁樹課長が応対しました。

## 共産党などが 県に申し入れ

汚染水の海洋放出については、県議会や7割を占める市町村が反対を表明し、県民世論が反対多数というなか、海洋トンネルをめぐって沖合に流すという計画です。申し入れでは、海洋放出方針の撤回を求め、また、海洋放出の責任を県民に転嫁しないよう、県民の懸念する点について十分説明を求め、国は進めてほし

▽抜本的な地下水流入対策を講じ地上保管を継続するとの4点を求めています。各県議は「東電が約束を守らず進めていることだ、県として速断に県民の声を聞け」とうへきだ「海底トンネルでたまたまよきな環境をめぐってほし」などと強く要請しました。伊藤課長は「知事には伝えず、地元、関係省、県民の懸念する点を十分配慮しながら国に進めてほしい」と述べました。

# 住民はだまされぬ



陳情を申し入れる共産党連と復興共闘センター代表ら。21日、福島県庁。

情報の公開 韓国要求へ

「ワウル」時局」韓国政府は21日、東京電力が福島第1原発処理水の海洋放出計画を申請したことを受け、日本側に対し、十分な検査や監視的・独立的な調査、透明性のある情報公開などを求める考えを明らかにしました。

また、日本側が海洋放出の手続きを進めることについても改めて遺憾の意を表明しました。韓国の原子力安全委員会が日本の原子力規制委員会宛てに、こうした内容を記した書簡を送りました。

## 代替策 真剣に考えよ



原発問題住民運動全国連絡センター 藤原代議士 藤原代議士 藤原代議士 藤原代議士 藤原代議士

出は、どんな言い訳をなっている地下水流入しても東電と国が公然と約束を破るにしようとするので、道義的にも大問題です。県民に対する責任が指摘されており、不正をいってはいけません。そもそも汚染水が増えることは、私たちが国で議論との交渉でも海洋放出をめぐる運動は、今後とも継続してまいります。

汚染水が増える理由と対策を求めました。増える